

すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	5歳児
日付	2026・1

1 活動のテーマ

<テーマ>

自然（カブトムシ）

2 <テーマの設定理由>

自然豊かな園庭で、いつも遊んでいる年長児。夏の時期には、家庭で飼っていて園にカブトムシを寄付してくださる申し出を受けて、年長クラスで飼うことになった。生き物を飼うことにより、様々な発見と学びを深めてもらいたいため設定した。

3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

透明飼育ケース マット（土） 木 ゼリータイプのエサ

地域ボランティア講師より

木の箱 プラスチックスプーン モール 針金 油性マジック

4 探索活動の実践内容

季節が変わり、カブトムシは卵を土の中に産んだのち死んだ。

子ども：「カブトムシは死んだけど、土の中に幼虫がいるかもしれないから、保育園でとっておいて」

保育者：「静かな涼しい場所に動かしておくね」

ケースを地下へ移動した。



保護者ボランティア講師の方が、年長児に向けて制作活動をしてくれることになった。

テーマは「ヘラクレスオオカブトとクワガタを作ろう！」

材料は、プラスチックスプーン、モール、乗せる台になるキャップ、針金、油性マーカー
見本を見ながら、オリジナルのカブトムシを作ろう！

子ども：「夏にカブトムシ飼っていたよねー」「色はどんな色にしようかな」

「アシがくっつかない。どうすればいいの?」「ツノはこの向きでいいの?」

いろいろ考えながら作り始める。

保育者：「カブトムシの図鑑もあるよー。もっと調べたい人はみてみたら?」と知らせる。

図鑑を見ながら、アシの数や角度を調整している。



講師：完成したら木箱に入れてみてね

子ども：「みてみて!できた!」

箱に入れずに、作ったカブトムシを友だち同士で見せあう子どもたち。



完成した子どもたちで
トントン相撲のように
カブトムシたちを戦わせる遊びも
楽しみ始めた。



その日に完成した作品は
家に持ち帰った。

5 振り返り

夏にカブトムシを飼った経験から、今回のカブトムシ制作への興味関心は広がっていた。
図鑑での調べ方も良く分かっていて、ひらがなを読みながら、気に入ったカブトムシの種類を見つけてそれに合うような制作を、子どもたち自身で考えて工夫していた。
制作したもので、イメージを膨らませて、別の遊びを生み出す力は、年長児ならではの探究活動だったと思う。さらに生き物への興味を広げてもらいたい。